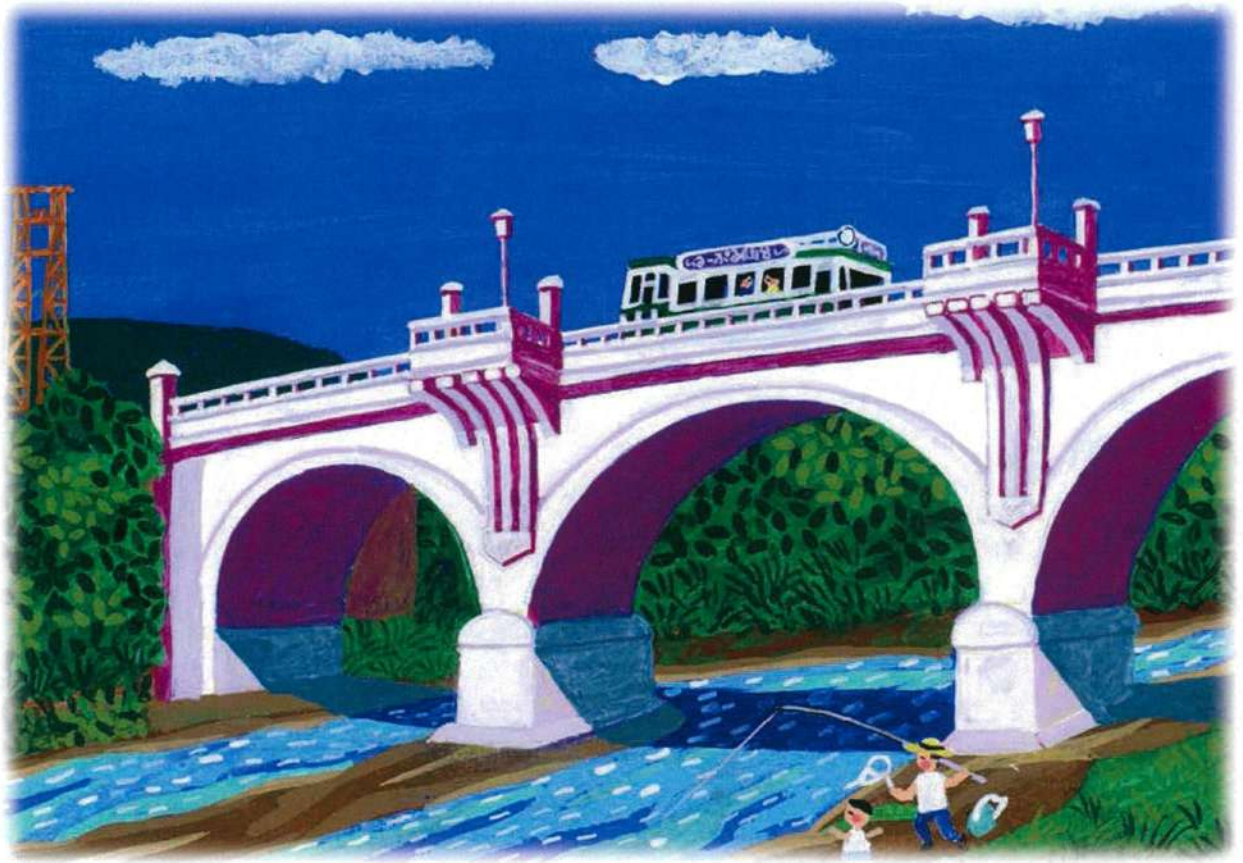


第10回発表会 報告集



令和6年(2024年)11月2日

近代仙台研究会



大橋（広瀬川）伊達政宗公が、仙台の地青葉山に城を構え城下の街割に着手した折、広瀬川に1601年（慶長6年）幅5間、長さ50間の橋が架けられました城から市街地へ通じる要所でしたが、広瀬川の氾濫が度重なり、流出と修復の歴史を繰り返してまいりました。明治22年の氾濫を機に、ベルギー製の錬鉄によりモダンな橋となりましたが、築後20年ごろから腐みがはげしくなり、1937年（昭和12年）鉄筋コンクリート造で長さ116m、幅10m、三径間（アーチ部分）の現在の橋として昭和13年9月に竣工し現在に至っております。この大橋の施工者として「第8回仙台市都市景観賞・建築・工作部門」で、橋本店が受賞しました。建設から63年後の2001年でした。＜参考：『橋本店140年の歩み』より＞
絵・文 小野寺純一（会員・画家）

近代仙台研究会 第10回発表会

近代の仙台を中心とした建築、工芸、歴史、文化に対する理解と研鑽を深める研究会を2016年（H28）1月に立ち上げました。この度第10回目の「発表会」を、東北工業大学一番町ロビー一終了に伴い、例年より繰上げて開催致します。

戦前、戦後の仙台をご存知の先輩方や、関心をもって研究されている方々の成果の発表を通し、多世代との交流を図りながら未来へと継承していきたいと思っております。興味のある方々のご参加をお願い致します。

会長 大沼正寛

日時 2024年（令和6年）**11月2日（土）**
午後1:00～5:00（0:30開場）

場所 東北工業大学一番町ロビー
2Fホール（仙台市青葉区一番町1-3-1）



参加申込 メールでの申込みをお願いします。
〆切=10/19（土）

資料代 1,000円（発表内容の報告書。必要）
（な方は当日お求め下さい）



フライヤー）

■近代仙台研究会

メール koukogen@ab.auone-net.jp
ホームページ <http://kindaisendai.com/>

発表テーマ（10/10版）◆各10分で、11名が発表します。

開会挨拶 1:00pm～

■第1部 生活文化と記憶 1:05～2:28（司会・庄子喜隆）

- 庄子晃子 「工業デザイン発祥の地をのぞいてみよう」
（令和4年～6年度榴岡市民センター主催事業）に協力して **2**
- 三上満良 連句と俳石の同人誌『遊』の俳石版画について(2) **8**
- 西大立目祥子 仙台産「強製紙」について一大石太吉と橋本店を中心に **14**
- 岡本勝寿 「楽都仙台はジャズ100年」
大正～昭和に花開いたジャズ文化を旅する **18**
- 大沼正寛 遠藤盛設計・大正4年築W邸の保存再生を通して
仙台の近代和風住宅を考える **24**
- ディスカッション（計時/マイク係・大益知佳）

■第2部 戦前・戦後の動き 2:40～3:29（司会・庄子晃子）

- 木村紀夫 仙台藩の高炉「文久山」 **28**
- 田邊いづみ 渋沢栄一と東北産業博覧会
—東北躍進の願いを込めて、「昭和恐慌」対策へ— **34**
- 伊藤正浩 八木山球場史
—ベーブ・ルースが来日初本塁打を放った球場— **38**
- ディスカッション（〃）

■第3部 都市造営のあゆみ 3:40～4:29（司会・大和晴彦）

- 内山隆弘 仙台市内における明治期洋風建築の跡地ツアー概要報告
—勾当台から片平まで **44**
- 斎藤広通 昭和4年建築の仙台市庁舎について **48**
- 庄子喜隆 現役木造校舎を撮影して **52**
- ディスカッション（〃）

閉会挨拶・諸連絡 他 4:31～5:00
（※時間は多少変動します）

近代仙台研究会の紹介 **54**